
アニメ&ゲーム+αキャラ ~逃げて戦って捕まえて~

月の歌姫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アニメ&ゲーム+αキャラ　　く逃げて戦って捕まえてく

【Nコード】

N6166Z

【作者名】

月の歌姫

【あらすじ】

作者の好きなアニメ・ゲームキャラによるサバイバル鬼ごっこ！！作者のオリキャラが出ますが…それでもいいという神様はどうぞご覧ください。

キャラ崩壊してる可能性があります。
不定期更新です。
オリキャラ彙編です。

集めれた者達（前書き）

プロローグ的なものです。

集めれた者達

ここは…名も無き無人島…。

とても広く…東京ドーム100個分はあるだろう…。

そこに南にある広場らしき場所に…彼らはいた。

ルーシィ「も——っ！何なのよここお——っ！…!?」

ナツ「落ち着けて。ルーィ…ルーシィ「ルーシィよ!!」(怒)」

ルーイジ「そこまで反論しなくても…トホホ…(泣)」

ハッピー「あゝあ…ルーシィのせいで本物のルーイジが傷付いちゃった…」

ルーシィ「あ！ごめんなさい!!名前自体が嫌ってワケじゃなくて…間違えられるのが嫌ってだけで…」

グレイ「でもホントここどこなんだ？」

ハッピー「さあ？」

護「あれ？何か来たよ？」

その何かとは…右の方の手袋——マスターハンドとその弟——クレイジーハンドだった。

スマキヤラ以外「手袋おおっ！…！！！！！！？」

マリオ「マスターハンド!？」

カービィ「それにクレイジーハンドも!？」

ピカチュウ「略してマスハン、クレハンだね」

手袋兄弟（笑）「略すな!!!って作者ああああっ!!!!!!!」（怒）

スマキャラ「うるさっ…っていつか作者、弄るなよ（ツツ）」

【しばらくお待ちください…】

マスハン「コホンッ…今回君たちに来てもらったのはゲームをするためだ」

全員「ゲーム？」

シロン「どんなゲームなんだ？」

クレハン「それはズバリ…サバイバル色々増やし鬼だ!！」

全員「サ、サバイバル色々増やし鬼？」

ズオウ「具体的に何するのー？」

マスハン「それは…」

全員「それは？」

ゴクリ…

マスハン「…次回説明する」

ズッテンツ！！

トモカネ「なんだそりゃー！！！」

ナミコさん「ちゃんとした説明ないとわかんないだろ！？」

クレハン「っていうかよおマスター？確か…説明は今から配るコレに入ってるんじゃないかったのか？」

段ボールを運びながらクレイジーハンドが言った。
中には腕輪型の機械とバッグが人数分入っていた。

マスハン「……あ」

クレハン「まさか…忘れてたのか？」

しばしの沈黙。そして…

マスハン「……てへ」

ブチッ！！

スマキヤラ「『てへ』『じゃねえだろうが！この糞手袋お！！！！（激怒）』」

スマキヤラ全員、最後の切り札同時発動！
マスハンに9000億のダメージ！

マスハン「ぐふっ…クレイジー…あとは頼んだぞ…ガクッ」

マスハンは死んだ（笑）

全員「何遊んでんだよ作者は…」（ツッコミ& a m p・呆^{アムタ}）

だって楽しいから♪

クレハン「……………（汗）と、とにかく今からコレ配るからな！？」

そう言って機械とバッグを配るクレイジーハンド。

そして…全員に渡った時、マスターハンドが起きた。

マスハン「では、全員解散！！気を付けて行けよ！！」

ウェンディ「がんばろうね！シャルル！！」

シャルル「ええ！」

そして…全員その場から離れた。

参加者リスト（前書き）

タイトル通りです。

キャラ崩壊があるかもしれませんが…。

因みに…一部キャラの名前表示が変わっているものもあるのでご注意ください。

参加者リスト

『大乱闘スマッシュブラザーズシリーズ』

- ・マリオ
- ・ルイージ
- ・ピーチ
- ・クッパ
- ・Drマリオ
- ・ドンキーコング
- ・ディディーコング
- ・ワリオ
- ・ヨッシー
- ・リンク
- ・子供リンク
- ・トゥーンリンク
- ・ゼルダノシーク
- ・ガノンドロフ
- ・カービィ
- ・メタナイト
- ・デデデ
- ・ピカチュウ
- ・プリン
- ・ピチュー
- ・レント（ポケモントレーナー）／ゼニガメ／フシギソウ／リザードン
- ・ルカリオ
- ・ミュウツー
- ・サマス・アラン
キャプテン
- ・Cファルコン

キャプテン

- ・Cオリマー
- ・フォックス・マクラウド
- ・ファルコ・ランバルディ
- ・ウルフ・オドネル
- ・ネス
- ・リユカ
- ・マルス
- ・ロイ
- ・アイク
- ・ピット
- ・ポポ
- ・ナナ
- ・ロボット
- ・Mr.ゲーム&ウォッチ
- ・ソリッド・スネーク
- ・ソニック・ザ・ヘッジホッグ

『FAIRY TAIL』

- ・ナツ・ドラグニル
- ・ルーシィ・ハートフィリア
- ・ハッピー
- ・グレイ・フルバスター
- ・エルザ・スカーレット
- ・ガジル・レッドフォックス
- ・ウェンディ・マーベル
- ・シャルル

『レジェンズ〜甦る竜王伝説〜』

・シロン

・ランシーン

・グリードー

・ガリオオン

・ズオウ

・ウォルフイー

・リーオン

・フリー（ヘキサドラゴン）

『勇者王ガオガイガーシリーズ』

・獅子王 凱ししおう がい

・天海 護あまみ まもる

・卯都木 命うつぎ みこと

・ルネ・カーディフ・獅子王ししおう

・戒道 幾巳かいどう いくみ

・ソルダートJ

『ケロロ軍曹』

・ケロロ

・ギロロ

- ・ドロロ
- ・タママ
- ・クルル
- ・日向 冬樹
- ・日向 夏美
- ・西澤 桃華
- ・東谷 小雪
- ・アングルⅡモア

- 『GA 芸術科アートデザインクラス』
- ・山口 如月「キサラギ」
- ・友兼「トモカネ」
- ・野田 ミキ「ノダミキ」
- ・野崎 奈三子「ナミコさん」
- ・大道 雅^{みやび}「キョーシュ」

- 『らき すた』
- ・泉 こなた
- ・柊 つかさ
- ・柊 かがみ
- ・高良 みゆき
- ・小早川 ゆたか
- ・岩崎 みなみ
- ・田村 ひより

・ 日下部 みさお
・ 峰岸 あやの

『 けいおん! 』
・ 平沢 唯 ゆい
・ 秋山 澪 みお
・ 田井中 律 りつ
・ 琴吹 紬 つむぎ
・ 中野 梓 あずさ
・ 平沢 憂 うい

『 ひだまりスケッチ 』
・ ゆの
・ 宮子
・ 沙英
・ ヒロ
・ なずな
・ 乃莉 のり

『 Aチャンネル 』
・ るん

・ トオル
・ ナギ
・ ユー子

『 NEEDLES 』

・ アダム・ブレイド
・ イヴ・ノイシュヴァンシュタイン
・ クルス・シルトノ山田
・ 照山 最次^{もみじ}ノ内田
・ デイスク
・ セト
・ ソルヴァ
・ アルカ・シルト
・ 未央
・ セツナ^{くちなし}
・ 梶

『 ？ ？ ？ 』
・ ？ ？ ？
・ ？ ？ ？
・ ？ ？ ？
・ ？ ？ ？
・ ？ ？ ？
・ ？ ？ ？

……の計120名が参加者。

参加者リスト（後書き）

因みに…シロン達は擬人化してますが…容姿については『FAIRYTAIL』Original Story』の『主人公達のプロフィールっ！』をご覧ください。

後…他にも出したいキャラがいましたが、出せそうにないので次の時に出します。
あればですが…

では（・・）ノシ

オリキャラ組、到着っ！

その後…驚くことに皆、一つの場所に集まっていた。

ケロロ「ゲロ？何故皆さん、こんなところに集まったのでありますか？」

キサラギ「そ、それは…ルールの確認をしなくてはいけないし…」

つかさ「かと言って一人でいるのも怖いから…」

ゆの「自然にみんな集まってたんだよね…」

唯「それにしても…鬼って一体、だれなのかなぁ？」

梶【木（×）気になるよね】

イヴ「っていうか…おい山田！この機械なんなんだ！？」

山田「僕の名前はクルスです！！って作者さん！！表示可笑いです！！」

フリー「うゝん…ってうわっ！？」

ピーチ「どうかしたの？」

フリー「いや…この機械弄ったらなんか出て…」

ソニック「なんだそんなこ…ってマジか！？」

フリー「ホントだよー！だってホラ」

そう言つてフリーが指差すところには画面ディスプレイが出ていた。

タママ「一体どこ弄つたんですか!？」

フリー「えつとねえ…このAボタンを押したら出てきたよ?」

分かり難いかも知れないので、←をご覧ください。

肘 — A B C — 手

ウォルフィー「でかしたつ!！」

ノダミキ「ほつかには何かがあるのかなあ…」あつ! Bボタンを押したら時間が表示されたよ!」

るんちゃん「あつ本当だー!」

ゆたか「で、Cボタンは…メールとテレビ電話…なのかな?」

小雪「でも、まだ使えないみたいですねえ…」

ディスク「つまり要約するとこんな感じね。Aボタンは操作画面の

スイッチ。Bボタンは時間表示。Cボタンは…今は使えないみたいだけど、通信機能つてわけね」

ルネ「なるほどな」

ピチュー「でも、まだ完全^{かんじえん}に操作^{しやうさ}方法がわかったつてわけじゃないでチュよ？」

全員「うーん」

カービィ「ねえー？なんかペンが、Cボタンの上のところから出てきたよ——？」

デデデ「わかったゾイ！そのペンで操作するんだゾイ！」

トオル「あのさ…今、思ったんだけど…画面出すの一人の方がいいんじゃない？」

沙英「確かに…その方が見終わった時に動きやすいしね」

凱「問題は誰が出しておくか…だな」

なずな「あ…あのっ！」

ゼルダ「？何ですか？」

なずな「足が速くて…機械に強い人が適任なんじゃないでしょうか…？」

梓「なるほど…。ん？機会に強いってのはわかるけど…足が速い人

ってどうゆう事ですか?」

なずな「えっと…その…鬼が何処から来るかわからないし…」

アルカ「つまり君は…最初に出していた人が捕まるかもしれないと思っ
て言った…という事か?」

なずな「はい…」

ルーシィ「そつかあ…いい子なのね!」

ハッピー「あい!ルーシィと違ってね!」

ルーシィ「ヒゲ引っこ抜くわよ?ネコちゃん(引き攣った笑顔)」

リーオン「ヒソッ」あの姉ちゃん意外と怖いな」

ウォルフィー「ヒソッ」なるべく怒らせない方がいいな」

と、ウォルフィーが言った時に背後から声が響く。

????1「ヒソヒソ話してると逆効果だよー?」

リーオン&ウォルフィー「うおわあっ!?!」

全員「!?!?」

二人の背後には年齢が違う5人の男女がいた。

夏美「だっ誰！？あなた達！？」

「???1「あれ？月姉えから聞かなかった？」???1「たちも参加者だよ？」」

全員「いや、今初めて聞きました（真顔&汗）」

ガジル「っーかお前ら誰だよ？」

「???1「みゆ？ミーシャだよっ」」ミーシャ・ガルザーク「！よろしくね」」

「???2「私は…」ディアン・レイシャント」…」

「???3「僕はノア。」ノア「ロウグ」」

「???4「俺は」ヨキ」だ！」

「???5「私はアスナ。」かんなぎ巫「アスナ」です」

「???1「ミーシャ」よっろしつくねー」」

「???2「ディアン」詳しい事はソレの中にある図鑑に書いてあるよ…」

「???3「ノア」参加者リストの各個人の名前をそのペンで触れば閲覧可能だから」

???4 ↓ヨキ「まあ、暇な時に見てくれよ!」

レジエンズ組（息ピッタリだな）

ノダミキ「どれどれ？」

???5 ↓アスナ「…ってもう見てる子いる!？」

▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼

ミーシャ・ガルザーク

性別：女

年齢：10歳

外見：黄緑の髪に金色の瞳

性格：人懐っこく騙されやすい

備考：^{ビーストソウル}獣化という能力を持っている。

▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲

ピット「^{ビーストソウル}獣化？」

照山「どんな能力なんだ？」

ミーシャ「そのまんまだよ？動物に変身できるんだー」
^{ビーストソウル}「^{ビーストソウル}獣化・猫!」
「たえば…」

すると、ミーシャの頭に猫耳が、腰からは尻尾が生えた。

ブレイド「Σ／／／っ！！！！？」

女性陣「カワイイ〜♪」

ミーシャ「えっへへ〜♪まだまだ序の口だよー？えいつ！！」

ここで、ジャンプしてクルリと一回転すると背が縮んでかなり猫っぽくなった（『流されて藍蘭島』の”すず”が動物になってしまった時みたいな感じ）。

女性陣「キャ——ッ！！」

未央「か、かわいすぎだよ〜…」

ロボット「ス、凄イデスネ…」

ミュウツー「……………つ、次を見るか…」

▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼

ディアン・レイシャント

性別：男

年齢：18歳

外見：銀髪に灰色の瞳

性格：無愛想・無関心・無表情・無口

備考：魔装者。淡々とした口調で話す

▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲

ウルフ「魔装”？なんだそりゃ？」

ディアン「…特殊な武器の事だけど、選ばれた人にしか使えないんだ…。で、”魔装者”はその選ばれし者の事」

ルーシィ「どんな武器^{もの}があるの？」

ディアン「ガントレットに剣、杖と鍵…それから銃だね…」

ロイ「じゃあ次の人のも見えて見ますか」

ケロロ「というか一気に見るでありますっ！」

キョージユ「何故だ？」

ケロロ「その方が速いからでありますっ！！（本当はめんどくさいだけありますが…）」

冬樹「ぐ、軍曹…？」（ ）の中見えてるよ？」

▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼

ノアⅡロウゲ

性別：男

年齢：17歳

外見：赤銅色の髪に緋色の瞳

性格：『薔薇のマリア』の”マリアローズ”みたいな感じ

備考：『家庭教師ヒットマンREBORN!』の死ぬ気の炎の波動を全て（オリ含む）持っている

ヨキ

性別：男

年齢：19歳

外見：真紅の髪に橙色の瞳

性格：ちよつと荒っぽい

備考：闇の滅竜魔導師
ドラゴンスレイヤー

巫 かなぎ
アスナ

性別：女

年齢：14歳

外見：ツインテールの灰金の髪に、アッシュブロード、ルミナスグリーン、蛍光緑と緋色の瞳

性格：明るい

備考：『聖天の書』という魔導書の所持者で、この本に書かれている魔法を使う。

▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲

レント「以上で終わりだよ」

ノダミキ「ねえアスナちゃん！『聖天の書』って誰でも使えるの？」

アスナ「えつとね…さっきディアンが言ってた魔装と同じで、選ばれた人にしか扱えないの…」

ノア「血の契約っていう儀式を行ってるからね…仕方ないんじゃない？」

ナツ「ふーん…。ところでよノア！死ぬ気の炎ってどんな炎なんだ！？うまいのか！？」

ノア「はいっ！？」

F・T・組以外「えっ？食べる気なの！？」

ルーシィ（やっぱりそこに食らいつくんだ…）

ハッピー（それがナツです！）

ヨキ「何そこコソコソしてんだ？」

シャルル「っていうか…アンタ、ドラゴンスレイヤー滅竜魔導師なのね」

グレイ「気をつけろよ」

ヨキ「？それどういう意味—— ナツ「おいつ、ヨキ！オレと勝負しろ！！」——なるほどな（汗）」

リンク「それよりそろそろ本題にはいつていいか？」

全員「あ、忘れてた」

ルール説明（前書き）

ここですけど…私が小説を書く際、カッコの説明をしておきます。

「…会話声だし

」…小声

（…心の声

【…紙などに書かれている文字
』…電話など

▼▼～▲▲…メールなどの内容文

となっております。

ルール説明

前回：遅れて登場してきたオリキャラ達のために中断してしまったルール確認。

今回はルールについての説明です。

ノア&ヨキ「って、それ作者のせいでしょ（だろ）!？」

リュカ「ど、どうしたんですか？」

ディアン「多分：作者の説明書きにツツコンでと思う」

ウォッチ【冷静に分析するとこナノ？】

戒道「それよりルール確認しようよ……」

ルイージ「それはいいけど……この子で大丈夫なの!？」

因みに、ディスプレイ画面を出しているのはミーシャ。

ミーシャ「だいじょーぶ!ミーシャは足早いから!」

エルザ「だが機械の方は大丈夫なのか？」

ミーシャ「それは……大丈夫だよ!………たぶん」

ヨキ「いや、そんな間をおいて話しても説得力ねえよ？」

ノア「それに…『たぶん』なんか付けたら説得力もつとなくなるしね」

ミーシャ「でもお！二人ともアス姉えの時は納得してるじゃんかー！」

ノア「時と場合によりけりだからねー」

ヨキ「そーゆーこと」

ミーシャ「~~~~~っ（顔真っ赤）」

アスナ「はいはい、ミーシャちゃん弄りはそれくらいにしようね、二人とも？」

ノア&ヨキ「いや弄ってなんかー アスナ「ふん…？（何やら黒いオーラを放ちニッコリ）」すみません！（orz&汗）」

アスナ「はいー素直でよろしいー。じゃ、ルール確認始めよっか？（爽やか笑顔）」

ユ一子「そ、そーやな…（この子何や！？さっきとまるっきり違うやん！）」

ヒロ「そ、そうね…そろそろルール確認しないとね…（この子だけは怒らせないようにしなきゃ…！）」

セツナ「じゃ、じゃあミーシャ…だったわよね？よろしくね？」

アスナ「？皆さんどうしたんですか？何かに怯えてるみたいですね…？」

オリキャラ以外「えっ！？」

ピーチ（ま…まさかこの子…！）

澪（自覚ないのか！？）

ウルフ（一番厄介なタイプだな…こりゃ…）

ミーシャ「？アス姉え？さっき怒ってなかったの？」

ルーシイ（Σまさかの直球コース！？）

ランシーン（無謀ですね…）

アスナ「まつさかぁ！怒ってるわけないでしょ？そ・れ・に…今はすこーしだけ…イラッときただけだよ」

トウーン＆ハッピー（あれで！？）

サムス（あれがこの子の中だと少してレベルなのね…）

ヨキ「まあ確かになあ…アスナが怒るとヤバいからなあ…」

オリキャラ「ヨキ（兄い）っ！！（冷汗）」

アスナ「……それじゃあルール確認開始だねっ」

全員「あれ？キレないの？」

アスナ「アレ位でキレたりしませんよ？」

そう言うアスナはヨキに近づいて一言。

アスナ「あとで光属性の最強魔法、喰らわすから覚悟しといてね」

ヨキ「Σ!？（滝汗）」

「&ルネ&ガジル&ファルコ」……………（汗）」↑聞こえてた方々

ミーシャ「んじゃっ！ルール確認スタートっ！」

▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼

その1、ルール説明

1、これから君達には…5日間、つまり120時間この無人島で逃げ回ってもらう。

見事逃げ切れれば…景品として、君たちの願いを一つだけ叶え、食事会に招待する。

2、君達が解散した3時間後から10分間は『CRAZY TIME』となり、この時間に捕まえられた場合、その時間が過ぎるまで動くことはできなくなる。

▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲

▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲

ナツ「つまりこれ…どういうことだ？」

ノア「簡単に言つと…たとえば僕が捕まつたら同じオリキャラのミ
ーシャ、ディアン、ヨキ、アスナが触れると再び動くことができる
けど…それ以外のメンバーが触れても何も起きないって事」

トオル「だとしたら…スマキャラが一番有利なんじゃあないの…？
人数多いし」

フォックス「いや、そうでもないぞ？実際はさらに分けられてるか
ら…一番有利なのはNEEDLES組じゃないのか？」

リンク「確かに…続きを読むぞ」

▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼

3 因みに、捕まえられると当たり前だが鬼となり、残りのメンバ
ーを捕まえなければならぬ。

全員捕まえることができなかった場合、私…マスターハンドよりお
仕置きがある。

4 確保情報は君達の腕に装着された装置『クロスブースター』に
連絡していく。

また、生存者同士・鬼同士での連絡は可能。

5 食料についてだが…生存者には支給されず、鬼にのみ支給され
る。

▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲

大食い組「なにいいいっ!？」

アイク「食料なしだとっ!？」

ドンキー「マジかよオオオっ!？」

ヨッシー「そんなの敵しすぎますー!! (泣)」

カービィ「ボクたちを餓死させる気か——っ!! (怒)」

デデデ「責任者を呼んでくるゾイ!! (激怒)」

ロイ「ちょ…! 皆さん落ち着いてくださいっ!」

大食い組「落ち着けるか——っ!!!!!! (超激怒)」

全員「…………… (汗)」

シロン「だめだなこりゃ…」

ブレイド「ほっとして次のヤツ見よーぜ」

▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼

その2、食料調達について

1、この島には…至る所に宝箱が置いてあり、24時間毎に100個ずつ補充されるためなくなる事はなく、スタート時から100個置かれる。

鍵はかかっていないため、簡単に開けることができる。

中身は…半分は食料で、もう半分は逃げるために有利なアイテムだ

が…使用制限がかかってあるものや、ハズレがあるので注意する事。
尚、宝箱は鬼には見つからないが、生存者には見つかるよう細工してある。

また、各エリアに20個ずつあるので安心したまえ。

2 宝箱に入っている食料は缶詰が5つと乾パンと氷砂糖が5袋入っていて、支給したバッグに入れて係蹄することも可能。

3 他の食料は木などに実っている木の実やキノコはすべて食べられるが、それ以外の草などは食べる事ができない。

また、魚を捕って食べる事もできるが、海で取ることはできないので注意する事。

4 それでも食料が見つからなかった場合…『クロスブースター』のCボタンを押すと『リタイア』という文字が出るので、そこをタッチペンで触れてくれ。

すると、大きな音が出て確実に確保されるが…食料は支給する。

▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲

大食い組「……………（Cボタンを見てる&涎」

ミーシャ「あっ続きが書いてある」

▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼

ただし！『リタイア』の文字に触れる事ができるのは『CRAZY TIME』が終わったあとだ！

▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲

大食い組「くっそおおおおっ！！」

ノア「これ書いた人…あいつ等（大食い組）の事よく理解してるね…」

全員「うんうん」

ディアン「続き見よ」

▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼

その3、『CRAZY TIME』について

この時間帯は、前述にもある通り10分間しかない。

クレイジーハンドは5人捕まえるか、時間が過ぎると帰っていくが、この時間の間…自分が今いるエリアから出る事は出来ない。

その4、制限付きアイテムについて

制限付きアイテムは、生存者側に通達される『ミッション』、また鬼が再び生存者になる事ができる『敗者復活戦』にて使用する。

また…中には特定のキャラクターにしか使用出来ない物もあるため、注意してほしい。

以上で説明は終わりだ。

諸君等の健闘を祈る。

▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲

リンク「これでルールは全部か？」

ピカチュウ「そうみたいピカね…」

ゆたか「わたし…逃げ切れるかなあ…？」

ピーチ「『逃げ切れるかなあ…？』じゃなくて『必ず逃げ切る』よ？気持ちを強く持たなきゃ！」

みなみ「でも…私たちの場合は…力がないから最初に捕まる可能性が高いよ…」

戦えない方々「あ…」

ゆの「そう言えばそうだよね…」

メタナイト「これは難題だな…」

ミーシャ「ん…」だったら、力がある人と一緒にいるっていうのはどうか？」

ヨキ「あのなあ…そーゆー問題じゃね—— 戦えない方々「なるほどあ！」—— っておいつ！」

トオル「そうだね…『CRAZY TIME』が終わるまでは三人チームで行動する方がいいかも…」

ヨキ「いやさ…だか—— かがみ「でも…三人だと分けるのが難しいんじゃないの？せめて五・六人に分けるのがいいんじゃない？」

—— お前もかよっ！っか—— キョージュ「最低でも同じ世界の人が二人…ぐらい一緒にいた方が良さな…」……（泣）」

全員（うわぁ…精神攻撃キツッ…）

冬樹「と…とにかく！みんな絶対に逃げ切ろうよ！」

桃華「そうですね！（冬樹君…カッコいい〜）」

ギロロ「二人のいう通りだな…」

紬「じゃあこうしませんか？幸い、連絡を捕りあう事ができるみたいなので…もし自分の近くで捕まってしまった人がいたら連絡するというのは？」

乃莉「それが一番いい方法ですね」

マリオ「よしっ！皆、頑張ろうな！」

全員「オ——ッ！！」

そう言う全員はアイテムと食料、隠れ家を探しにいった…。

そして…その場に残ったのはアスナだけだった…。

アスナ（皆行ったみたいだね…。そういえば…バッグの中身って何なんだろう…？）

そう言っアスナはバッグを覗いた。

中に入っていたのは『誰にでもできるサバイバル術！！』と書かれ

たサバイバルブックとタイマーだった。

アスナ「…用意周到だなあ…って！『ルール』の下の項目って『地図』なのおっ！？分かり難いわっ！！」

アスナは文句を言いながらも地図を見始めた…。

ルール説明（後書き）

次は舞台となる無人島の設定です！

無人島の説明です (殴(前書き))

いてて…もう!!

何で殴るんだよ!!クレイジー!!

クレハン「俺の出番はまだかよっ!!?さっさと出せやア!ゴラァ!
」

……アスナちゃん?光属性の最強魔法、喰らわしてくれる?

アスナ「月の歌姫さんっ!?!いくらクレイジーハンドでもそれは…
!」

クレハン「Σどっちの意味だソレ!?!」

無人島の説明です ((殴

エリア紹介

舞台は第一部でもあった通り、東京ドーム100個分の無人島。

北エリア…北にあるエリアで、ほぼ森に覆われている。岬には一年中咲誇っている虹桜と呼ばれる桜の木が一本存在している。

所在ゾーン：岬ゾーン、森ゾーン、海岸ゾーン

東エリア…東にあるエリアで、荒地が広がっている。

所在ゾーン：荒地ゾーン、岩場ゾーン、草原ゾーン、遺跡ゾーン

西エリア…西にあるエリアで、大きな湖が存在し、真ん中には火山がある。

所在ゾーン：湖ゾーン、滝ゾーン、高台ゾーン、森ゾーン、海岸ゾーン、火山ゾーン

南エリア…南にあるエリアで、鬼の本部（スタート地点）がある。

所在ゾーン：川ゾーン、森ゾーン、廃墟ゾーン、広場ゾーン、??
?ゾーン

中央エリア…真ん中のエリアで、雪山。
所在ゾーン：山道ゾーン、洞穴ゾーン、雪山ゾーン

アスナ「ゆたかちゃんたち…大丈夫かな？」

と、そこで何かを思い出し、首を振った。

アスナ「弱気になったらダメだ！絶対に生き残ってみせる！！」

そう言ってアスナも隠れた。

因みにメンバーが隠れたのはコチラ。

北エリア

岬ゾーン…凱、命、ピーチ、ゼルダ、ウルフ

森ゾーン…憂、唯、セト、ソルヴァ、マリオ、ドンキー、ディディ
ー、カービィ

海岸ゾーン…護、フリー、ズオウ、リンク、ミュウツー、ファルコ
ン、オリマー

東エリア

荒地ゾーン…ガジル、グリードー、フォックス

岩場ゾーン…ブレイド、イヴ、マルス、アイク

草原ゾーン…リーオン、ウォルフィー、シロン、ヨッシー

遺跡ゾーン…つかさ、こなた、ゆの、宮子、ウォッチ

西エリア

湖ゾーン…桃華、冬樹、紬、梓、ガリオン

滝ゾーン…るんちゃん、トオル、ゆたか、みなみ、ひより

高台ゾーン…メタナイト、J、ルカリオ、ディアン、エルザ、ファ
ルコ

森ゾーン…戒道、ウエンディ、シャルル、沙英、ヒロ

海岸ゾーン…サムス、ルネ、アルカ、ドクマリ、デデデ

火山ゾーン…ナツ、ハッピー、照山、ピカチュウ、レント

南エリア

川ゾーン…ケロロ、モア、タママ、ヤンリン、ネス、リュカ

森ゾーン…ギロロ、小雪、漣、律、なずな、乃莉^{のり}

廃墟ゾーン…アスナ、ヨキ、クルル、ディスク、クルス、ロボット、スネーク

広場ゾーン…ワリオ、ソニック、かがみ、みゆき、ピット

???ゾーン…ランシーン、ガノンドルフ、ルイージ

中央エリア

山道ゾーン…未央、セツナ、樞、夏美、ナミコさん、あやの、みさ

お、クッパ

洞穴ゾーン…ルーシィ、ノア、ナギ、ユー子、キサラギ、トモカネ、
ノダミキ、ロイ

雪山ゾーン…グレイ、ミーシャ、ドロロ、キョージユ、アイクラ、
トウーン、プリン、ピチュー

それでは――…

GAME START!!

無人島の説明です (殴(後書き))

凱「そう言えば今思ってたんだが…アスナの持つてる『聖天の書』の中身ってどうなってんだ？」

そのうち説明するよ!!

たぶん…ね…(遠い目)

全員「ΣSO・NO・U・TI!?しかもたぶん!?!」

GAME START!! (前書き)

新年初投稿です!!
ではどうぞ。

▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲

ロボット「ツイニ始マリマシタカ…」

夏美「ボケガエルよりも多く逃げ切らなきゃね!」

フォックス「せめて2日は生き残らなきゃ…」

ファルコ・ウルフ「フォックスやあの犬っコロ（鳥）よりは生き延びてやる!」

ミュウツー「で、今鬼がいる場所^{エリア}は…」

▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼

現在、鬼は…^{クレイジーハンド}南エリアにいる。

▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲

南エリアにいる人「ええええええつ!!!!?」

該当外の人「よしっ、取りあえず今は大丈夫だ!!（笑顔）」

「南エリア・広場ゾーン」

クレハン「さてっと…誰を最初に捕まえるべきかなあ?」

と、クレイジーハンドが何処からか機械を取り出して操作している間…。傍らでは…

???「最悪だな…。よりによって近くに鬼がいるなんて…」

そんなクレイジーハンドを見つめる一対の瞳があった。

ソニックだ…。
いくら音速と謳われた彼でも、この距離で逃げ切れる自信がなかった。

ソニック「早く、何処かに行ってくれ!!」

彼が祈っていると、クレイジーハンドが叫んだ。

クレハン「げっ!?!あそこもう見つけた奴がいんのかよ!?!こいつ等はダメだな。となると…」

ソニック(Watt? 一体何を言ってるんだ?)

クレイジーハンドは、機械をしまうと、移動した。

く同じく広場ゾーン

クレハン「え〜っと…確かっ、いた！」

「……」

クレイジーハンドは、ターゲット標的を見つけるとゆっくり近づいていき…そして――

クレハン「ほい！初タッチだなっ！！」

「……」
「ゲツ！クレハン！」

捕まえた。
捕まったのは――

ワリオだった…。

ピピッピピッ！

ガジル「なんだ？またメールか？」

リュカ「えっと…【ワリオ捕獲】！？もう捕まったの！？」

ケロロ「ゲロオ！？リュカ殿の仲間が捕まったのでありますか！？」

タママ「何さつさと捕まってるんだよ！？ええ？」

ヤンリン「いくらなんでも、早すぎ！！」

モア「誰かお仲間がいればいいんですけど…ってゆーか、救助作戦？」

ネス「でもまあ…他のスマブラメンバーも同じこと思ってるんだろ
うなあ…（黒笑）」

ケロロ・モア・タママ「同じ事って？」

ネス・リュカ「それは内緒だよ（ですよ）」

因みに…思った事というのは…

「よしっ、ワリオが捕まった！！！ざまあWWW」
これだ。

＊＊

ワリオ「くっそー！！まさか初っ端から捕まるとは…しかも、動けねえし！！」

そう、ワリオの足元が凍りつき、動けなくなってしまうっていたのだ！！（笑）

クレハン「まあそう怒るなって。ルイージの奴がいるみたいだから頼んでみたらどうだ？動けるようになるかもしれないぜ？」

ワリオ「…あのなあ！体が動かな…って腕が動いたっ！！？よしっ、これなら…！！」

ワリオはメール機能を開くと、ルイージに連絡した。

クレハン「さてと…俺は次のところでも行くか…」

そう言ってクレイジーハンドは去って行った…。

GAME START!! (後書き)

番外編：その頃のルイージ

ルイージ、南エリア・???ゾーンに到着した時

ルイージ「あれ？ランシーンさんとガノンドルフ？ここに隠れてたんだ」

ランシーン「おや？ルイージさん…でしたね？あなたもここで隠れるんですか？」

ガノンドルフ「フンッ…日陰者にはお似合いの場所だからな！」

ルイージ「ぐっ!!」

開始のメールが来て

ピピッピピッ！

ランシーン「メールが来たようですね」

ルイージ「えつとね…【サバイバル色々増やし鬼、スタート開始。現在、鬼クレイジーハンドは南エリアにいる】だって…」

ガノンドルフ「オレ達のいるエリアか…」

ランシーン「気のせいでしょうか…それ以外のエリアにいる人が考えていることが手に取るようにわかってしまうのですが…」

ルイージ・ガノンドルフ「僕（オレ）も同じだ…」

＊ワリオ捕獲情報が来た時＊

ルイージ・ガノンドルフ「よしっ、ワリオが捕まったー！！ざまあWW」

ランシーン「…確か二人は仲間だったのでは……？」

ルイージ「うん。確かに、パーティとかカートとかよく一緒にやるけど…あんまり一緒にいたくないんだよねえ…汚いし」

ガノンドルフ「それに…他の輩ならともかく、オレを下僕扱いしているしなー！」

ルイージ「そうそう。それに多分…兄さんだったら満面の笑みでガッツポーズ、ドンキーやデイディー、クッパだったら大喜びしてると思うよ？」

実際、やってたり（笑）

ルイージ「…気のせいかな？なんか変な声が聞こえた様な…？」

ピピッピピッ！ピピッピピッ！

ランシーン「？ルイーダさん…貴方から音がしてますよ？」

ルイーダ「え？あつ本当だ…メールみたいだね」

ガノンドルフ「先程と音が違うが…誰からだ？」

ルイーダ「えつとね……噂をすれば陰って本当にあつたんだね…（遠い目）」

ランシーン・ガノンドルフ「？」

ルイーダ「ワリオから。【おい！下僕の一人の影地味ルイーダ！主人である俺様を助ける！】……これどう思う？」

ランシーン「……………」

ガノンドルフ「……………」

ランシーン・ガノンドルフ「助けに行かなくていいと思う」

ルイーダ「だね」

終了

全員「キャラ崩壊してるぞ！？」

気にすんな

全員「気にしろ!!」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6166z/>

アニメ&ゲーム+αキャラ　～逃げて戦って捕まえて～

2012年1月5日17時48分発行